

このたびは、デジタルレコーダーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

本機はSDカード(別売)に収録されたMP3形式データの再生、及び録音入力端子に接続した外部機器の音声を録音するためのレコーダーです。使用する記録媒体はSDカード(別売)です。用途に適した容量のものを別途ご用意ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。

プラグを
コンセントから
抜け



組込機器の
電源プラグを
コンセントから
抜け

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。



SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



SDカード挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。



取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

ご使用になる前に

ご使用にあたってはSDカード(別売)を別途ご用意していただき、次の説明に従ってMP3形式データの準備をしてください。

ご使用可能なSDカードについて

- 一部のメーカーや特定のSDカードで、本機器ではご使用頂けない場合がございます。正常な動作を確認できたSDカードについては、弊社営業所又はお客様相談窓口までお問い合わせをお願い致します。

SDカードの録音時間のめやす

 SDロゴは商標です。

カードの容量	16MB	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
録音時間	約15分	約30分	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	約16時間	約32時間

注)ミニSDカード、SDHCカード、及びマイクロSDカードは使用不可

MP3形式データ(音楽、音声など)の準備について

音楽などをSDカードに収録する場合は、次の方法でおこなってください。

1. ダイレクト録音(本機を使用する)

- SDカードは本機を使いフォーマットしたものを使用し、録音してください。(13ページのSDカードのフォーマットのしかたをご覧ください。)
- 本機の録音入力端子に音楽プレーヤー、または組込機器本体の出力端子を接続して録音してください。本機のSDカードにMP3形式ファイルが記録されます。詳しくは8ページの「録音について」、及び9ページの「録音のしかた」をご覧ください。

2. MP3形式データを転送する(パソコンなどを使用する)

- SDカードは本機を使いフォーマットしたものを使用し、MP3形式データを転送してください。パソコンなど本機以外の機器でフォーマットされたSDカードを使用するとデータが破損したり、正常に録音・再生されない恐れがあります。(13ページのSDカードフォーマットのしかたをご覧ください。)
- 本機以外のパソコンなどでフォーマットする場合は、SDカードフォーマッタ^{※1}をお使いください。

SDカードフォーマッター

検索

※SDカードフォーマッターは検索エンジンで検索してください。

- 本機はフォルダやプレイリストには対応していませんのでファイルはフォルダなどを作らずに転送をしてください。
- ファイル名は半角英数字8文字以内で拡張子は「.MP3」としてください。漢字や全角文字、ロングファイル名には対応していませんので正しく表示されません。
ファイル名の付与例 →「ABCD1234.MP3」
- MP3データは下記のフォーマットに対応しています。
サンプリング周波数: 16kHz~48kHz
ビットレート: 32kbps~320kbps VBR対応(*VBR: 可変ビットレート)
- サンプリング周波数と、ビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
- 可変ビットレートのファイルに関しては、演奏時間表示が正常に表示されない場合がありますが、異常ではありません。
- 詳しくはパソコン及び関連するアプリケーションなどの説明書をご覧ください。

SDカードのデータのバックアップについて

- SDカードに記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより失われることがあります。失っても困らないように、大切な録音データはパソコンにバックアップし、また記憶内容をメモして保存しておいてください。

各部の名称と説明

スキップ/サーチボタン(ダウン)

曲(TRACK)の戻り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(2秒以上)曲を早戻しします。

再生/一時停止ボタン

演奏を始めるときに押します。演奏を一時停止(ポーズ)するときもこのボタンを押します。

ディスプレイ

操作または動作状態を表示します。(5ページの「ディスプレイ部の名称と説明」をご覧ください。)

音量調節ボタン(アップ)

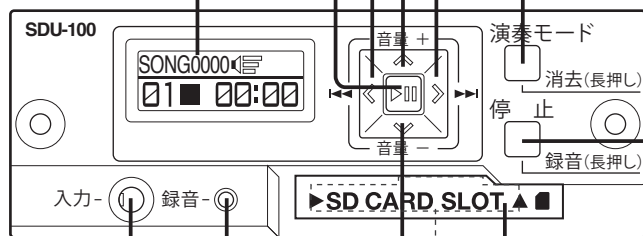
音量を上げるときに押します。停止時及び演奏中に調節できます。

スキップ/サーチボタン(アップ)

曲(TRACK)の送り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(2秒以上)曲を早送りします。

演奏モード/消去ボタン

演奏スピードの調節とリピート設定をするときに押します。(11ページの「再生のしかた」をご覧ください。)
また、SDカードに収録されている曲を消去するときに長押し(2秒以上)します。(14ページの「消去のしかた」をご覧ください。)



録音表示灯

録音中及び録音スタンバイ時に点灯します。

録音入力端子

(φ3.5mmステレオミニジャック)
付属の接続コードで機器の録音出力などと接続してください。(8ページの「録音について」をご覧ください。)

音量調節ボタン(ダウン)

音量を下げるときに押します。停止時及び演奏中に調節できます。

停止/録音ボタン

演奏及び録音を停止するときに押します。また、録音するときに長押し(2秒以上)します。詳しくは9ページの「録音のしかた」をご覧ください。

ダストカバー

ダストカバーをはずしSDカードを挿入してください。挿入後は必ず元どおりにダストカバーを取り付けてください。(7ページの「SDカードの挿入方法」をご覧ください。)

SDカード挿入口

ダストカバーをはずしSDカードを挿入してください。(7ページの「SDカードの挿入方法」をご覧ください。)

各部の名称と説明

(ディスプレイ部の名称と説明)

曲タイトル表示

曲タイトルを表示。再生、録音時の曲名のめやすにしてください。

- ・ パソコンを使用して作成する音楽ファイルは曲タイトルにファイル名(半角英数字8文字以内、全角不可)が表示されます。
- ・ 本機を使用して録音する場合、曲タイトルが「SONG0000」から最大「SONG9999」まで自動的に付きます。

トラック番号表示

トラック(曲)番号(00~512)を表示。

再生/停止表示

曲の停止/再生/一時停止を表示。

- : 停止
- ▶ : 再生
- || : 一時停止、録音一時停止
- : 録音
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し

演奏時間表示(分:秒)

演奏中の曲の経過時間のめやすを表示。

注)本機はVBR(可変ビットレート)のMP3ファイルの再生、早送り、早戻し時に固定ビットレートとして時間表示をするため、実際の時間表示とは大幅なずれが生じることがありますが、異常ではありません。

音量表示(3段階)

再生/停止時に音量のめやすを表示します。

- 🔊 : 0
- 🔊 : 小(1~9)
- 🔊 : 中(10~19)
- 🔊 : 大(20~32)

演奏モード表示

演奏モード(1回のみ/リピート)を表示。

- 無表示 : 全曲1回のみ再生
- ↺ : 全曲リピート再生
- ↺1 : 1曲のみリピート再生
- ⏮ : 1曲再生後停止、次曲で待機

(12ページの「演奏モードの設定」をご覧ください。)

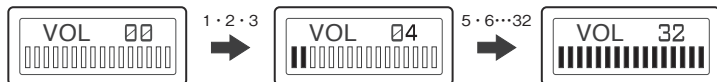
録音時

メモリー使用量表示

録音時はSDカードのメモリー使用量を表示します。

6(最大)	2
5	1
4	0(最小)
3	

音量表示(音量調節時) 11ページの「音量調節のしかた」をご覧ください。



再生スピード表示(再生スピード調節時) 12ページの「再生スピードの調節のしかた」をご覧ください。



消去曲数・フォーマット表示(消去・フォーマット操作時)

13ページの「SDカードのフォーマットしかた」、14ページの「消去のしかた」をご覧ください。

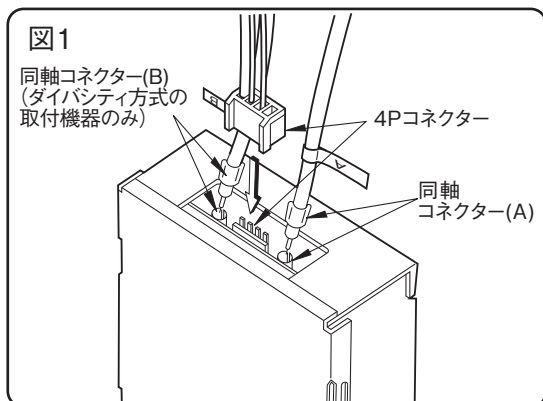


組込方法

警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事に依頼してください。

警告 取付及び取りはずし作業をおこなう場合は必ず、取付機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 取付機器のチューナーユニット挿入口のブランクパネルをはずし、ブランクパネルの裏側に差し込まれている4Pコネクター※2と同軸コネクターをはずしてください。
2. はずした各コネクターを本機後面のコネクターに各々しっかりと接続してください。同軸コネクターは、必ず接続してください。(図1参照)
3. 本機をチューナーユニット挿入口に装着し、ブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。



■ご注意……

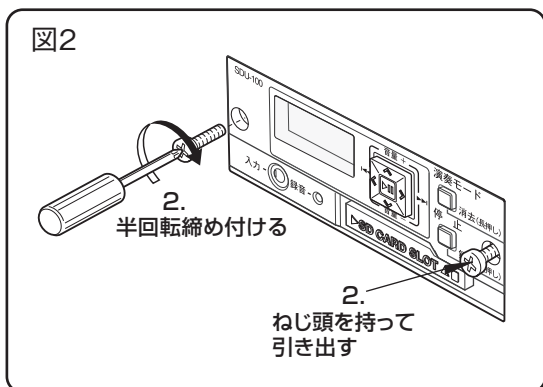
本機を固定するときは両側のねじを交互に少しずつ締め付けてください。片側のねじだけを強く締め付けますと本機のパネルに強い力がかかり破損の原因になることがあります。

※2 ブランクパネルから4Pコネクターをはずす際には、必ずパネル側のロックのツメをはずしてから取りはずしてください。

また本機挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。

取りはずしかた

1. 本機の両端の取付ねじ2本をはずしてください。
2. はずした取付ねじ2本を本機のねじ穴に半回転締め付け、ねじ頭を持って挿入口より引き出してください。(図2参照)
3. 後面の4Pコネクター※3と同軸コネクターをはずしてください。



■ご注意……

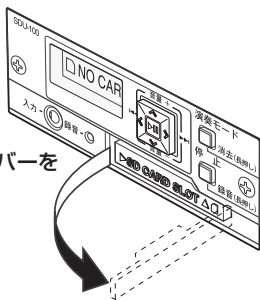
※3 4Pコネクターをはずす際には、必ず本機側コネクターのロックのツメをはずしてから取りはずしてください。また本機を挿入口より引き出すときは接続コードに無理な力を加えないようにご注意ください。

SDカードの挿入方法

入れかた

◇すでにSDカードが入っているときは、カードは入れられませんので、無理に入れしないでください。必ず挿入口にカードが入っていないことを確認してからカードを挿入してください。必ず挿入後はダストカバーを取り付けてください。

① ダストカバーをはずす

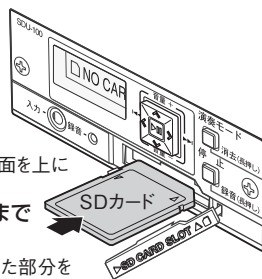


② ロックするまで差し込む

角がカッされた部分を右前にカードを差し込む

③ ダストカバーを取り付ける

ラベル面を上

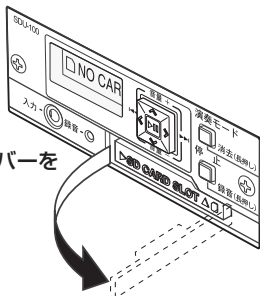


取り出しかた

■**ご注意** 動作中、操作の途中及び待機（一時停止）時などにSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

◇必ず取り出した後はダストカバーを取り付けてください。

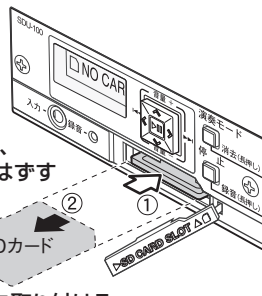
① ダストカバーをはずす



② カードの中央部を押し込み、ロックをはずす

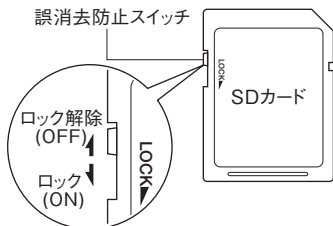
③ まっすぐ引き抜く

④ ダストカバーを取り付ける



誤消去防止スイッチについて

誤消去防止スイッチ



◇SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチをロック側にしますと、録音、消去などカードの内容を変更することができません。再生時に誤操作によるデータの消失を未然に防ぐため、このスイッチをロック側にされることをお勧めします。

◇録音、消去をするときは誤消去防止スイッチのロックを解除してください。ロック側になっていますと操作を開始しても「PROTECT ON」表示後、元の表示に戻り操作はキャンセルされます。

録音について



注意

電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

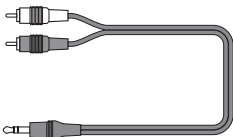
付属の接続コードについて

本機には2種類の接続コードが付属されています。接続する出力端子に合わせてご使用ください。(下図参照)

ステレオピンジャック用

ステレオピンプラグ

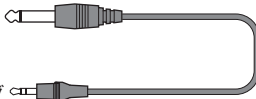
φ3.5mm
ステレオミニプラグ



ホーンジャック用

ホーンプラグ

φ3.5mm
ステレオミニプラグ



外部のプレーヤーの音楽を録音する場合

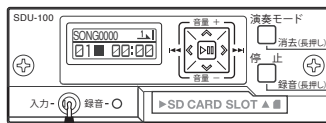
MDまたはCDプレーヤー



プレーヤーの
録音出力などに接続

注)
音量調節可能な
出力に接続してください。

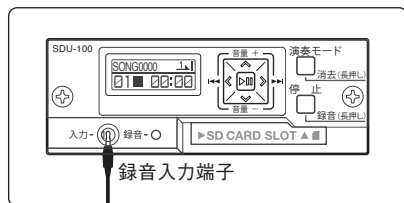
接続コード



録音入力端子
(φ3.5mmステレオミニプラグ)

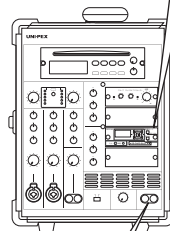
組込機器のプレーヤーやマイクを使用する場合

組込機器の内蔵プレーヤーやマイクの音声を録音する場合は、付属の接続コードを使用し、出力端子と接続してください。(下図参照) ミキシング録音も可能です。

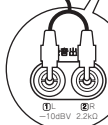


録音入力端子

接続コード
(付属)



※4
キャリングアンプ
CGA-200シリーズ
CGA-134シリーズ
CGA-704シリーズ



キャリングアンプ※4の
録音出力に接続

録音のしかた

SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていますと録音操作は「PROTECT ON」表示後、元の表示に戻りキャンセルされます。SDカードを取り出しロックを解除してください。(7ページの「誤消去防止スイッチについて」の説明をご覧ください。)

1. 外部機器の出力を接続する

- 外部機器の出力端子と本機の録音入力端子を接続してください。(8ページの「録音について」をご覧ください。)

注) 録音中、及びその操作の途中でSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

2. 電源を入れる

- 組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

3. SDカード挿入口にカードを入れる

- 本機のSDカード挿入口にカードを入れてください。(7ページの「SDカードの挿入方法」をご覧ください。)

4. 録音する機器の音量を調節して再生スタンバイ(一時停止)状態にする

- 録音する機器の音量調節つまみを適当な位置に調節してください。
- 録音する機器の再生の準備をして、スタンバイ(一時停止)状態にしてください。

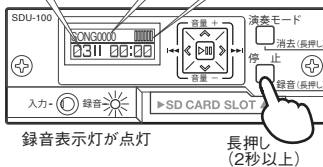
■ご注意

- 録音レベルは極端な音量差がないようにご注意ください。テスト録音をして適正な録音レベルを設定し録音されることをおすすめします。
- 録音レベルが低い場合、デジタル特有のノイズが録音される場合があります。

5. 停止/録音ボタンを長押し(2秒以上)する

- 停止/録音ボタンを長押し(2秒以上)すると録音待機状態になります。

トラック番号表示※7 曲タイトル表示※6 メモリー使用量※8



※6 これから録音する曲のタイトルが表示されます。

※7 これから録音する曲のトラック番号が表示されます。

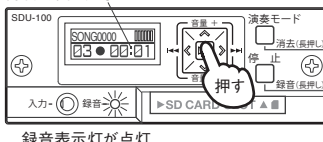
※8 メモリー使用量が表示されます。録音する前に十分なメモリー残量があるかを確認してください。(5ページの「メモリー使用量表示」の説明をご覧ください。)

6. 再生/一時停止ボタンを押す

- 録音したいプレーヤーの再生をスタートさせ、同時に本機の再生/一時停止ボタンを押すと録音が始まります。

◇ 演奏時間表示部に録音時間が表示されます。ただし録音時間が60分を超過しますと表示単位は「時:分」に切り換わり「:」部分が点滅します。

録音時間を表示

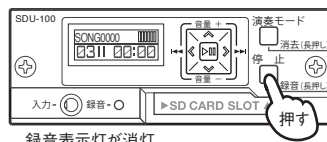


7. 停止/録音ボタンを押す

- 停止/録音ボタンを押すと「SAVING」表示後、録音が終了します。

■ご注意

- 「SAVING」表示中に電源を切ったり、SDカードを取り出さないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。



◇ 本機で録音されたSDカードを本機以外で使用されると、著しい音量差などで使用に差し支える場合があります。使用に際しては音量の調節に充分ご注意ください。

録音のしかた(例)

キャリングアンプ※4の場合

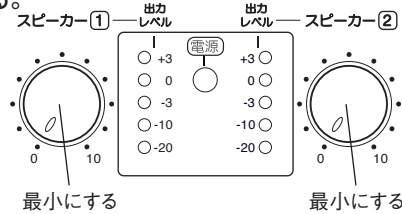
※4
CGA-200シリーズ
CGA-134シリーズ
CGA-704シリーズ

⚠注意 録音時はスピーカー①②音量調節つまみを最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

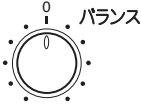
●本機の録音入力端子とキャリングアンプの録音出力を接続して録音される場合の基本的な説明です。録音時の参考にしてください。

スピーカー①②音量調節つまみを最小にする。
(放送中に内容を録音する場合は除く)

- 録音時に録音する音声が大量で放送され聴力障害などの原因になることがあります。必ずキャリングアンプのスピーカー①②音量調節つまみを最小にしてください。
- 詳しくはキャリングアンプの取扱説明書をご覧ください。



- バランス調節つまみ、音質調節つまみは「0」クリック位置にしてください。



マイクロホン(有線)

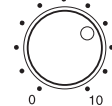
- 有線マイクの音声を録音するときは「2時」位置をめやすに調節してください。



CD音量

- CDの音楽を録音するときは「2時」位置をめやすに調節してください。

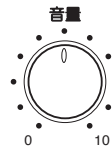
CD音量



ワイヤレスマイク

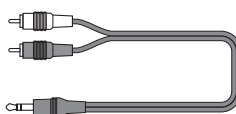


- ワイヤレスマイクの音声を録音するときは「12時」位置をめやすに調節してください。



- 録音入力端子とキャリングアンプの録音出力を接続してください。

ステレオピンジャック用接続コード(付属)



再生のしかた

注意 電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

1.電源を入れる

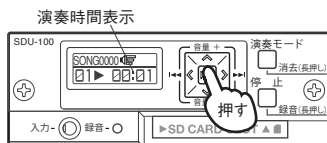
□組込機器の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2.SDカード挿入口にカードを入れる

□本機のSDカード挿入口にカードを入れてください。
(7ページの「SDカードの挿入方法」をご覧ください。)

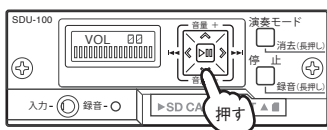
4.再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押しますと再生が始まります。
◇演奏時間が60分を超過すると表示は「00:00」に切り換わりカウントを続けます。



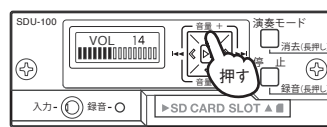
3.音量を「00」にする

□音量調節ボタン(ダウン)を押し音量を「00」にしてください。



5.音量を調節する

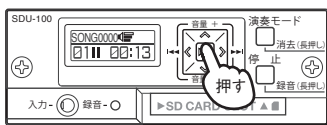
□音量調節ボタン(アップ)を押し適当な音量に調節してください。音量調節については下記の説明をご覧ください。



演奏を一時停止(ポーズ)するには

再生/一時停止ボタンを押す

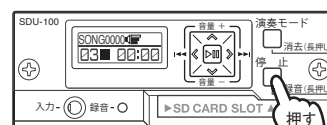
□演奏中に再生/一時停止ボタンを押しますと演奏が止まります。再度押しますと停止位置からの再生が始まります。



演奏を停止するには

停止ボタンを押す

□演奏中に停止ボタンを押しますと、その曲(トラック)の頭に移動し、停止します。再度押しますと一番前のトラック位置で停止状態に変わります。



音量調節のしかた

- 音量を上げるときは音量調節ボタン(アップ)を、音量を下げるときは音量調節ボタン(ダウン)を押してください。停止時及び演奏中に調節できます。
- 音量は0~32の数値と16段階のバーメーターで表示します。

ヒント：本機の音量は電源を切り再び入れますと次のようになります。

- ①電源を切る前の音量が「11」以下の場合には元の音量で復帰します。
- ②電源を切る前の音量が「12」以上の場合には「11」に下がります。

音量調節ボタン(アップ)を押す



音量増



最大「32」



中「16」



最小「0」

音量減



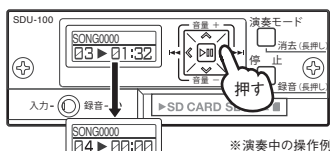
音量調節ボタン(ダウン)を押す

曲を選ぶには

● 次の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタン(アップ)を押す

- 演奏中にスキップ/サーチボタン[▶▶]を押すと次の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと次の曲番号が表示が換わります。

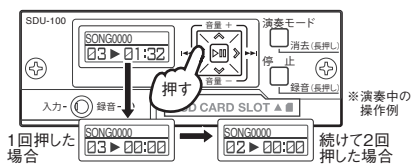


※演奏中の操作例

● 前の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタン(ダウン)を押す

- 演奏中にスキップ/サーチボタン[◀◀]を押すと演奏中の曲の頭に戻り、演奏を開始します。続けて2回押すと前の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと前の曲番号が表示が換わります。



※演奏中の操作例

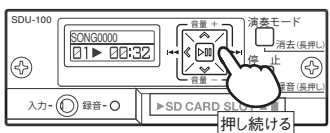
1回押した場合 → 続けて2回押した場合

早送り/早戻しするには

● 曲を早送りするには

スキップ/サーチボタン(アップ)を押し続ける

- 2秒以上押すと早送りし、離すとその位置から演奏を開始します。

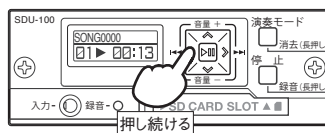


押し続ける

● 曲を早戻しするには

スキップ/サーチボタン(ダウン)を押し続ける

- 2秒以上押すと早戻しをおこない、離すとその位置から演奏を開始します。



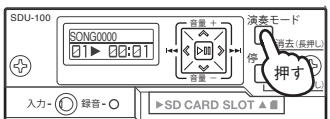
押し続ける

演奏モードの設定

1曲または全曲を繰り返し聴くには(リピート演奏)

演奏モード/消去ボタンを押す

- 演奏中に演奏モード/消去ボタンを1秒以内に押すことを繰り返すと無表示→→→→→の順に変わります。停止時にも設定できます。下表を参考にして演奏モードを設定してください。



- ◇演奏モード/消去ボタンを一度押すと再生スピード表示になりますが、繰り返し押し続けると演奏モードが表示されます。

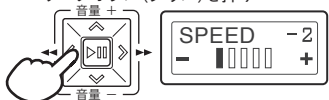
無表示	通常再生 (最後の曲まで演奏します。)
	全曲リピート (全曲を繰り返し演奏します。)
	1曲リピート (今演奏している曲を繰り返し演奏します。)
	リレー再生 (一曲ごとに停止後、次の曲で待機します。)

再生スピードの調節のしかた

演奏モード

消去(長押し)

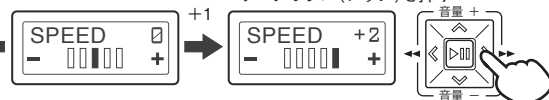
再生スピードを遅くするときはスキップ/サーチボタン(ダウン)を押す



- 演奏モード/消去ボタンを押すと約2秒間、再生スピードの状態(+2~0~-2)を表示します。表示中にスキップ/サーチボタン(アップ)または(ダウン)を押して再生スピードを調節してください。(±2段階可能)

注) 曲によってはスピードを変化させると異音が発生することがありますが異常ではありません。

再生スピードを早くするときはスキップ/サーチボタン(アップ)を押す



再生スピード表示は約2秒間操作をしないと元の表示に戻ります。再生スピードの調節を続ける場合は演奏モード/消去ボタンを押しながら再生スピード表示に切り換えてください。

■ご注意 □Lチャンネル「Lch」に音声の入っていないMP3データをご使用の場合

再生スピードを調節すると無音状態になってしまいますので、必ず再生スピードは「0」の設定でご使用ください。

SDカードの再生順について

- 本機で使用するSDカードはカードへ転送、及び録音した順番でトラック番号が付けられます。曲ファイルはそのトラック番号の順番で再生されます。

曲タイトル表示部



■ご注意

トラック番号は曲タイトルの「SONG----」の番号と同じではありません。

トラック番号表示部

SDカードのフォーマット(初期化)のしかた

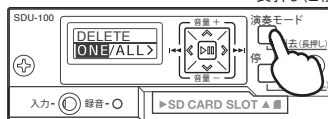
SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていますとフォーマット操作は「PROTECT ON」表示後、元の表示に戻りキャンセルされます。SDカードを取り出しロックを解除してください。(7ページの「誤消去防止スイッチについて」の説明をご覧ください。)

注)フォーマット、及びその操作の途中でSDカードを取り出したり、電源を切らないうください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

1. 演奏モード/消去ボタンを長押し(2秒以上)する

- 演奏モード/消去ボタンを長押し(2秒以上)すると消去曲数「ONE」表示になります。

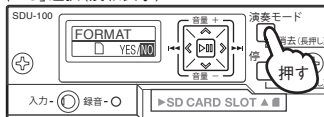
「ONE」選択(反転表示) 長押し(2秒以上)



3. 演奏モード/消去ボタンを押す

- 演奏モード/消去ボタンを押してください。

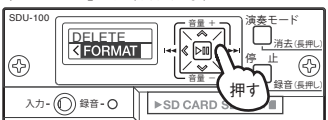
「NO」選択(反転表示)



2. スキップ/サーチボタンを押す

- スキップ/サーチボタン(アップ)を2回押して「FORMAT」を選択してください。

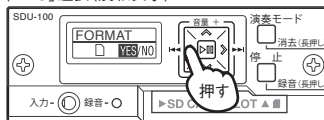
「FORMAT」選択(反転表示)



4. スキップ/サーチボタンを押す

- スキップ/サーチボタン(ダウン)を押して「YES」を選択してください。

「YES」選択(反転表示)



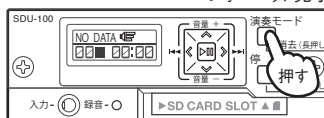
- ◇SDカードにデータが入っていないときに、演奏モード/消去ボタンを長押しすると「3」の表示に変わります。それ以降は「4」→「5」の操作でフォーマットをおこなってください。

ヒント：フォーマットの操作を途中で中断する場合は停止/録音ボタンを押してください。(または「NO」選択時に演奏モード/消去ボタンを押しても可)

5. 演奏モード/消去ボタンを押す

- 演奏モード/消去ボタンを押してフォーマットを実行してください。

フォーマット完了



「COMPLETE」表示後→「NO DATA」表示

消去のしかた

SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていますと消去操作は「PROTECT ON」表示後、元の表示に戻りキャンセルされます。SDカードを取り出しロックを解除してください。(7ページの「誤消去防止スイッチについて」の説明をご覧ください。)

ヒント：消去の操作を途中で中断する場合は停止ボタンを押してください。(または「NO」選択時に演奏モード/消去ボタンを押しても可)

注)消去中、及びその操作の途中でSDカードを取り出したり、電源を切らないでください。本機が正常に動作しないことや、カードの内容が破壊されたりすることがあります。SDカードの取り出しは必ず停止中(■)におこなってください。

1.演奏モード/消去ボタンを長押し(2秒以上)する

演奏モード/消去ボタンを長押し(2秒以上)すると消去曲数「ONE」表示になります。「[NO]」選択(反転表示) 長押し(2秒以上)

↓ 1曲「ONE」削除

2.スキップ/サーチボタンを押す

スキップ/サーチボタン(アップ)を押して「ALL」を選択してください。「[ALL]」選択(反転表示)

↓ 全曲「ALL」削除

2.演奏モード/消去ボタンを押す

演奏モード/消去ボタンを押してください。トラック番号 曲タイトル

↓ 1曲「ONE」削除

3.演奏モード/消去ボタンを押す

演奏モード/消去ボタンを押してください。「[NO]」選択(反転表示)

↓ 全曲「ALL」削除

3.スキップ/サーチボタンを押す

スキップ/サーチボタン(アップ/ダウン)を押して消去する曲を選択してください。

↓ 1曲「ONE」削除

4.スキップ/サーチボタンを押す

スキップ/サーチボタン(ダウン)を押して「YES」を選択してください。「[YES]」選択(反転表示)

↓ 全曲「ALL」削除

4.演奏モード/消去ボタンを押す

演奏モード/消去ボタンを押してください。トラック番号 曲タイトル

「[NO]」選択(反転表示)

↓ 1曲「ONE」削除

5.演奏モード/消去ボタンを押す

演奏モード/消去ボタンを押して消去を実行してください。 全曲消去完了

↓ 全曲「ALL」削除

5.スキップ/サーチボタンを押す

スキップ/サーチボタン(アップ/ダウン)を押して「YES」を選択してください。「[YES]」選択(反転表示)

↓ 1曲「ONE」削除

6.演奏モード/消去ボタンを押す

演奏モード/消去ボタンを押して消去を実行してください。 1曲消去完了

↓ 1曲「ONE」削除

表示と処置について

	<p>「NO CARD」 内容…SDカードの未挿入 SDカードが挿入されていません。カードを挿入してください。</p>
	<p>「ERROR/FAT32」 内容…SDカードのフォーマット形式がFAT32 SDカードのフォーマット形式が合っていません。このエラー表示中にどの操作ボタンを押してもフォーマット確認の表示に変わります。カードのデータが消滅しても問題のない場合はそのままフォーマットの操作を続けてください。</p>
	<p>「REC/MEMORY FULL」 内容…SDカードのメモリー残量僅少 SDカードのメモリー残量が僅少、またはデータ数が規定数^{*9}を超過しているため録音ができない状態です。不要なデータを消去するか、他のカードと交換して録音してください。（^{*9} 最大512 カード容量、データの総容量などにより512より少なくなる事があります。）</p>
	<p>「曲タイトル/PROTECT ON」 内容…SDカードがロック状態 SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているため録音できません。ロック状態を解除してから録音してください。</p>
	<p>「DELETE/PROTECT ON」 内容…SDカードがロック状態 SDカードの誤消去防止スイッチがロック状態になっているため消去できません。ロック状態を解除してから消去してください。</p>
	<p>「NO DATA」 内容…SDカードにMP3データなし SDカードにデータが入っていません。録音、またはデータの転送をするか、他のカードと交換してください。</p>
	<p>「ERROR/No.50」 内容…SDカードの異常 「ERROR/No.51」 内容…SDカードの異常</p>
	<p>これらのエラーNo.が表示している場合はどの操作ボタンを押してもフォーマット確認の表示に変わります。このときは取付機器本体の電源スイッチを「切」にして再度電源を入れてエラーを解除してください。それでもエラー表示が解除しない場合はカードのデータが消滅しても問題のない事を確認し、いずれかの操作ボタンを押してそのままフォーマットの操作を続けてください。</p>
	<p>「ERROR/No.」 内容…本機のシステムエラー 「No.50」、「No.51」以外のエラーNo.が表示している場合は、取付機器本体の電源スイッチを「切」にして再度電源を入れてエラー表示を解除してください。もしエラー表示が消えない場合は販売店や工事店などにご連絡ください。そのときは必ずエラーNo.をお伝えください。</p>

点検方法

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症 状	点 検 項 目「表示部」	対 策
全く動作しない	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	SDカードが入っていますか。【NO CARD】	SDカードを挿入してください。
	SDカードに転送したデータのファイル形式が正しいですか。【NO DATA】	MP3形式データ及び本機で録音した音声データを使用してください。
演奏時間は進んでいるが音声がでてこない	SDカードのフォーマット形式は正しいですか。【ERROR/FAT32】	本機でフォーマットしたカードを使用してください。
	音量が最小になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
SDカードが入らない	本機の中にSDカードが入っていませんか。	SDカードを取り出してください。
	SDカードを裏表逆に入れていませんか。	SDカードのレーベル面を上にして入れてください。
録音ができない	SDカードのメモリー残量が不足していませんか。【REC/MEMORY FULL】	不要なデータを消去してください。 他のSDカードに交換してください。
	SDカードのファイル数が512を超過していませんか。【REC/MEMORY FULL】	不要なデータを消去してください。 他のSDカードに交換してください。
	SDカードの横に付いている誤消去防止スイッチがロック側になっていませんか。【曲タイトル/PROTECT ON】 【DELETE/PROTECT ON】	誤消去防止スイッチのロックを解除してください。
録音、消去、フォーマットができない		

著作権法について

- あなたが本機を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などしたものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 放送コード、CD、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらを録音、編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

使用上のご注意

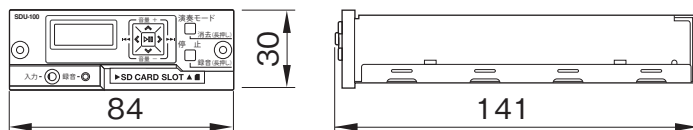
当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ①本機の故障または不具合により録音ができなかった場合、生じた損害など
- ②本機の故障または不具合によりカード内のデータが破損または消去された場合、データの内容の補償
- ③本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害

定格

電源電圧	DC12V 組込機器本体より受電
電源電圧範囲	DC9V~DC13V
消費電流	160mA以下(再生時 電源電圧13V時) 180mA以下(録音時 電源電圧13V時) 220mA以下(再生時 電源電圧9V時) 280mA以下(録音時 電源電圧9V時)
表示	動作表示 : 液晶表示 バックライト : 発光ダイオード 緑 録音表示 : 発光ダイオード 赤
適合SDカード	SDA準拠SDカード(16MB~2GB) SDHCは除く
ファイルシステム	FAT12, FAT16
ファイル保存最大数	512(SDカードの容量、および、ファイルに依存) 保存は、ルートディレクトリのみ対応。
音声圧縮伸長方式	MP3形式(MPEG1 Audio Layer3)
再生ビットレート	32kbps~320kbps
録音ビットレート	128kbps (サンプリング周波数44.1kHz)
周波数特性	20Hz~20kHz
再生スピードコントロール	-20%~+25%可変 (±2段階+通常速度の5段階)
S / N 比	65dB以上
ダイナミックレンジ	65dB以上
リニアリティ	±1.0dB, 0dB (0dB~-40dB)
高調波歪み率	0.2%以下
選曲	前後一曲
入力感度	録音入力: -10dBV ±3dB 10kΩ
定格出力	音声出力: -26dBV ±3dB 10kΩ
付帯機能	シングルリピート、オールリピート、リレー再生、経過時間表示、スピードコントロール、一時停止、音量調節、消去機能、フォーマット機能
使用温度範囲	0°C~+40°C
外装	パネル (ABS樹脂) 黒色半艶塗装
寸法	幅 84mm 高さ 30mm 奥行 141mm
質量	約 230 g
付属品	録音用コード(ステレオピンジャック用、モノラルホーン用) 各1、取扱説明書(保証書付) 1

外観寸法図 (単位:mm)



memo

サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページもしくはQRコードにアクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245

通話料無料

受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日除く)

PHS・携帯電話からのご利用は、

072-855-3334 (通話料がかかります)

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

デジタルレコーダーユニット SDU-100 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 見本 様 ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 印 電話() -

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(4)

SDカードファイルリスト



トラック番号

No.

SDカードの曲目(ファイル名)などの内容を下表に記録してご使用ください。
内容の変更が予測される、曲目が多いなどの場合はコピーしてご利用ください。

SDカード名称: _____

トラック番号	曲目(ファイル名)	(時間)分:秒	
01		:	
02		:	
03		:	
04		:	
05		:	
06		:	
07		:	
08		:	
09		:	
10		:	
11		:	
12		:	
13		:	
14		:	
15		:	
16		:	
17		:	
18		:	
19		:	
20		:	

SDカード名称: _____

No.

トラック番号	曲目(ファイル名)	(時間)分:秒	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	
		:	